

## 災害が発生したら

### 正確な情報を収集する

- 倒れやすいものから離れ、落下物に注意。
- むやみに動かず安全を確認。
- 非常口やドア等を開けて避難口を確保。
- 避難は徒歩で、荷物は最小限に。  
(火を扱っている場合は、身の安全を確認後火の始末)
- エレベーターを使用せず階段で避難。
- 正確な情報収集に努め、なるべく集団で行動。
- 負傷者の救護や初期消火に協力。
- 家族との安否確認および学校へ安否連絡。

## 日頃の準備

大地震の発生を防ぐことはできなくても、適切な準備を行うことで被害を軽減することができます。どんな備えが必要か考えておきましょう。

- 避難場所の確認 (学校付近および自宅周辺等)
- 家族との連絡方法および待ち合せ場所の確認
- 災害用伝言サービスの確認と登録 (メール宛先等の事前登録が必要)
- 帰宅ルートおよび所要時間の確認 (災害時徒歩約 2.5 km / h)
- 緊急時メモの作成・記入
- 具体的な情報収集手段および緊急避難場所等の確認 (学校および通学途中)
- 転倒防止対策や緊急時アイテムの確認
- 学校および友人等への連絡方法の確認およびリスト整備

本マニュアルは純真学園のホームページのトップページからプリントアウトできますので、ご家族にも事前にお伝えください。

### 【各避難場所】

- 南区避難場所：■筑紫丘中央公園  
筑紫丘 2 丁目 2
- 収容避難所：■野間中学校  
筑紫丘 2 丁目 2-1 TEL 542-6388  
■筑紫丘中学校  
筑紫丘 2 丁目 28-1 TEL 541-4831

## 緊急避難アイテム

### 日頃から準備・携帯しておく便利な物

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 現金 (小銭も)        | <input type="checkbox"/> 学生証 (免許証なども)   |
| <input type="checkbox"/> 健康保険証           | <input type="checkbox"/> アドレス帳          |
| <input type="checkbox"/> タオル・ばんそうこう・包帯   | (家族、友人の連絡先を記入)                          |
| <input type="checkbox"/> 手回し充電ラジオ・ライト    | <input type="checkbox"/> 雨具 (カッパなど)     |
| <input type="checkbox"/> ティッシュ・ウエットティッシュ | <input type="checkbox"/> 携帯充電用 USB ケーブル |
| <input type="checkbox"/> 非常用保温アルミシート     | <input type="checkbox"/> ポリエチレン製ごみ袋     |
| <input type="checkbox"/> チョコレート・あめなど     | <input type="checkbox"/> 油性マジックペン       |

### その他非常時に必要なアイテム

- |                                    |                                   |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 貯金通帳      | <input type="checkbox"/> 印鑑       |
| <input type="checkbox"/> 常用薬とその処方箋 | <input type="checkbox"/> 上着・下着・靴下 |
| <input type="checkbox"/> 運動靴       | <input type="checkbox"/> リュック     |
| <input type="checkbox"/> 卓上コンロ     | <input type="checkbox"/> 懐中電灯     |
| <input type="checkbox"/> ひも・ロープ    | <input type="checkbox"/> ろうそく     |
| <input type="checkbox"/> 予備電池      | <input type="checkbox"/> 缶切り・柱抜き  |
| <input type="checkbox"/> スリッパ      | <input type="checkbox"/> 洗面用具     |
| <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ   | <input type="checkbox"/> 非常用食料・水  |

\* 記入は油性のペンを使用してください。

- 一時避難所：■筑紫丘公民館  
筑紫丘 2 丁目 22-15 TEL 512-6477
- 羽生市指定避難所：■岩瀬小学校  
上岩瀬 1756 TEL 048-561-0803  
■岩瀬地域活動センター(岩瀬公民館)  
上岩瀬 2367 TEL048-561-5070

## 地震発生直後は裏面へ

## 学校への連絡方法

### 安否連絡について

大地震が発生した場合、本学は学生の安否確認を行います。  
地震発生時に登校していない場合は、連絡可能な状況になり次第、下記の方法で学校に連絡してください。

- 純真学園大学  
電話：092-554-1255
- 純真短期大学  
電話：092-541-1513
- 純真高等学校  
電話：092-541-9710
- 純真学園緊急携帯電話番号(福岡)  
携帯：090-2852-7096
- 埼玉純真短期大学  
電話：048-562-0711
- 安否連絡専用メールアドレス  
anpirenaku@junshin-c.ac.jp

### 報告事項

- ①学籍番号 ②氏名 ③本人・家族の状況  
④自宅や付近の状況 ⑤その他

## 家族への連絡方法

### NTT災害用伝言ダイヤルサービス

地震など大災害発生時に、安否確認などの電話が爆発的に増加し、つながりにくい状況になった場合、提供されるサービスです。



市外局番 電話番号 事前に記入しておきましょう

[ ] - [ ] - [ ]

\*被災地の方も、被災地以外の方も利用方法は同じです。

- 利用可能な端末 / NTTの一般電話、公衆電話、携帯電話
- 蓄積伝言数 / 1 電話番号あたり 1 ~ 10 伝言
- 録音時間 / 1 伝言 30 秒以内
- 伝言保存期間 / 2 日間 (48 時間 \* 自動消去)

事前の登録が必要です! (事前にテストをしてください)

### 携帯各社の災害用伝言板サービス

大規模災害時に携帯電話から安否確認 (安否情報の登録) ができる災害用伝言板サービスです。

あらかじめ指定したご家族や知人に対して、災害用伝言板に登録されたことをメールでお知らせする機能も提供されます。また、インターネットからも安否情報の確認が可能です。

### 各社の QR コードはこちら



- |        |   |
|--------|---|
| NTTドコモ | <a href="http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi">http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi</a> |
| au     | <a href="http://dengon.ezweb.ne.jp/">http://dengon.ezweb.ne.jp/</a>                 |
| ソフトバンク | <a href="http://dengon.softbank.ne.jp/">http://dengon.softbank.ne.jp/</a>           |
| ウィルコム  | <a href="http://dengon.willcom-inc.com/">http://dengon.willcom-inc.com/</a>         |

# 大地震対応マニュアル

もしもの時にあなたの身を守る

学生配布用

## 学校法人純真学園

### 緊急時パーソナルメモ

氏名 .....

学籍番号 .....

学部 .....

学科 .....

緊急連絡先 .....

住所 .....

電話番号 .....

持病 あり なし 常用薬 あり なし

アレルギー あり ( ) なし ( )

自宅近くの避難場所 .....

家族との待ち合せ場所 .....

家族と共有しておきましょう

\* 記入は油性のペンを使用してください。

地震発生直後

→ 揺れがおさまったら →

落ち着いたら① →

落ち着いたら②

**地震発生**  
身を守る

今いる場所は  
本当に安全？

**YES**  
その場所を動かない

**NO**  
避難場所へ避難

**家族との  
安否確認**  
※裏面参照

自宅に歩いて  
帰れる？

**YES**  
自宅へ

**NO**  
避難場所へ

**学校へ  
安否連絡**  
※裏面参照

POINT ▼

POINT ▼

POINT ▼

POINT ▼



学校にどうするか

### 大きな揺れを感じたら

#### ●危険物から離れる

窓や棚、ガラスなど割れたり中  
のものが飛び出しそうなものか  
ら離れる。

実習中や課外活動中などで、周  
囲に危険なものがある場合は、  
すみやかにその場から離れる。

#### ●落下物から頭と手足を守る

机の下にもぐる、バッグなど  
で頭を覆うなどして、頭と手足  
を守る。落下物がない場所にいる  
場合は、その場で座り込む。

#### ●出口を確保する

ドア付近にいる人は、ドアを開  
け、出口を確保する。(余裕が  
ある場合)

#### ●揺れがおさまるのを待つ

安全を確保して、揺れがおさま  
るのを待つ。

### 揺れがおさまったら

#### ●冷静に、落ち着く

余震の可能性もあるので、あわてずしばらく様子を見る。

#### ●周囲の状況を確認

周囲のものが倒れたり、落下してくる恐れがない場合は、その  
場で待つ。危険と判断した場合は、安全なところへ移動する。

#### ●初期消火

火災が発生している場合は自分の身が安全な範囲で  
周囲の協力を得ながら初期消火。消火が困難と判断  
した場合は、すみやかに火から離れる。

#### ●負傷者の救護

負傷者がいる場合は自分の身が安全な範囲で周囲の  
協力を得ながら応急手当をし、教職員に連絡する。

### 避難する時の注意点

#### ●「おかしも」を守る

「おさない、かけない、しゃべらない、もどらない」  
を守り、教職員や非常放送の指示に従って落ち着い  
て避難。身の回りのものは身につけるが、避難に支  
障が出る大きな荷物は置いていく。

#### ●火災が発生している場合

煙を吸わないよう、タオルなどで口を覆う。

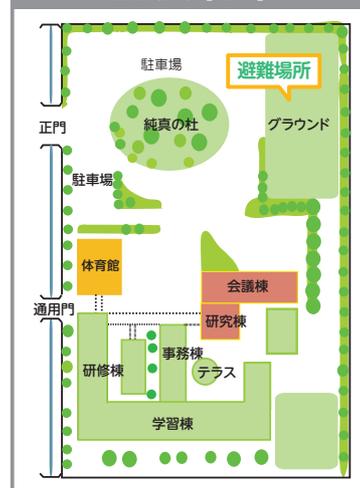
#### ●階段で移動

エレベーターは使用せず、階段で移動する。

### 避難場所【福岡】



### 避難場所【埼玉】



通学中

●周囲の状況に注意し、身の安全  
の確保を最優先とする。

●塀、電柱、自動販売機などから  
離れ、落下物にも注意する。

●「帰宅するか」「登校するか」  
または、「最寄りの安全な場所に  
避難するか」は自分で判断する。

●被害状況を正しく把握する。

●事前に家族と相談して決めた避難場所に移動する。ただし、被災場所やその場の状況によっ  
ては安全を最優先し、別の避難場所に移動する。

●避難中は警察や消防の指示に従う。

家族の電話番号

-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

memo

memo

●多くの人が一斉に帰宅すると各所で混雑が発  
生するため、余裕を持つことも大切。周りの  
状況を確認してから帰宅すること。

●災害時の歩行速度は約2.5km/時程度、10km  
は4時間を要することになる。

●日没後の行動は危険で夜間は犯罪に巻き込ま  
れる可能性もあるため、1人での行動は避け  
ること。

(目安)

月日	日の出	日没
3月20日	06:23	18:38
6月20日	05:08	19:32
9月20日	06:05	18:18
12月20日	07:18	17:14

※悪天候は1時間早く暗くなる。